

# ひらサポレター

ひらサポ since2023  
発行日：令和5年9月1日

HP：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hiratsuka-sh/

MAIL：hiratsuka-sh@pen-kanagawa.ed.jp

ひらサポの活動をメンバーの皆さんにお知らせします。平塚支援学校在籍の皆さんにはプリントで、そのほか地域の皆さんはHPでご覧いただけます。

## 学校で、語ろう

7月14日（金）、令和5年「学校で、語ろう」2回目の活動を行いました。今回のスピーカーは、平塚市を中心として立ち上がった INCLUSIVE HUB SHONAN（以下インクルハブ湘南）の代表理事、定成幸代さんと渋谷剛さんのお二人です。テーマは「平塚から発信するインクルーシブな社会づくり」と題し、インクルハブ湘南についてお話しいただきました。当日は、保護者の皆さんのほか、近隣の小学校や本校からも教員の参加があり、関心の高さがうかがえました。

インクルハブ湘南についての詳しい紹介はHP等をご覧ください。当日は、わくわくするようなインクルハブ湘南の将来展望についてのお話を聞いた後、保護者の皆さんや教員がそれぞれの思いや考えを話す場になりました。スピーカーからの話とともに、1部ですが下の〇で紹介します。

始まったばかりのインクルハブ湘南と、今年54周年を迎える平塚支援学校とが今後どのように連携していくか、お互いに模索中ではありますが、より良い形を目指していきますのでご期待ください。

なお、今後の「学校で、語ろう」の予定は以下の通りです。

9月12日（火）「卒業後の生活を考える」（受付は終了しています）

10月10日（火）「摂食の発達と変化」（こちらは9月1日から受付中です）

その他、理学療法士と話す会の実施に向けて日程を調整中です。さらに、今年度内に校長をスピーカーに迎えた年度のまとめの会を予定しています。

前向きな協力者は地域にたくさんいる

福祉サービスの支給量をもっと考えられるべき

カラー写真はHPで！



## ひらサポ ワークショップ 工房

工房のお知らせを1学期末に配付し、2学期よりホームページにも掲載しました。こちらは、通年で企画を募集しています。現在は、平塚支援学校教員より、「ヘアカット」をやりたいという応募があり、賛同者も定数を満たしているため、学校内で実施可能かどうかの検討が始まります。その他、児童生徒が参加できる企画だけではなく、「学校にこんなものがあたらいいんじゃない？作りたい！」「保護者や地域住民で集まって、〇〇の練習をしたい！」など、ひらサポメンバー同士の交流を目的とした企画も応募可能です。ぜひ、興味のあるところから、平塚支援学校での活動に参画されてはいかがでしょうか。

## 学校サポーター

コロナ対策も緩和され、ボランティアの募集を再開しています。条件は、①高校生以下は不可、②ボランティア保険に加入されていることの2点です。実際の活動などは、時期によって学校で活動とサポーターの方をマッチングさせていただきます。活動時間帯など、希望をうかがいながら調整が可能です。活動に興味がある方は、ボランティア活動担当（☎:0463-58-2487）までご連絡ください。

重心の子は、どこに行くにも、まず「車いすで入れるか」を考えなければならない

マイノリティ（少数者）の声を届けるためには、「みんなが取り組むべきこと」と感じるような流れが必要かも

外出時、ミキサー食を家から持っていくこともある

障害があるために受けている支援・配慮が、周囲からはずるいと思われているのでは、と周囲の目が気になる

学校と保護者はぶつかることはあるけど、本当は同じ方向を見ているはず

先生がやりきれないところをインクルハブ湘南で支えたい

事前に問い合わせたときに「車いすOK」と言われた店でも、実際に行ったら「ベビーカーお断り」ということも。とてもがっかりする。正しいサービス情報が得られるだけでもうれしい

市の障がい福祉課も必死にやっている。でも足りない

トイレにユニバーサルシートがあれば使える。「シートはないけど、声をかけてくれれば手伝いますよ」と言ってくれるけど、そこでいちいち声をかけるのも遠慮してしまう

議会でもオープンに障害に関する問題が話されるべきだと思う

インクルハブ湘南でYouTubeをやってみたら？SNSで発信したらもっと盛り上がりそう

「ごめんなさい」より「ありがとう」を言える社会になればいい